

3Dプリンター 関西を拠点

近畿経産局が産官学ネットワーク

関西を3Dプリンターを
活用したもののづくりの一大
拠点にしようと、近畿経済
産業局は24日、次世代プリ
ンターの技術開発に取り組
む全国の企業や大学、団体
などと連携した広域ネット
ワークを立ち上げると発表
した。大阪市内に拠点を置
き、3Dプリンターの実用
化を目指す企業を支援した
り、セミナーを開催して普
及活動に取り組んだりす

る。3月7日に設立イベン
トを開く。

3Dプリンターは樹脂や
金属で模型や製品の型など
を作ることができ、技術
開発競争ではドイツや米
国が先行し、世界市場にお
ける日本製3Dプリンターの
シェアは3%にとどまる。
経産局は、金属や樹脂の加
工業者が多い関西の地の利
を生かして実用化を後押し
し、日本のシェア拡大につ

なげたい考えだ。

ネットワークには、次世
代プリンターにつながる青
色半導体レーザーの技術開
発に取り組む大阪大接合科
学研究所や、4Dプリンテ
ィングの開発に取り組む慶
応義塾大SFC研究所など
14大学・団体が参画。今後
は製造業のシステム支援を
手がける商社などでつくる
「3Dものづくり普及促進
会」（大阪市西区）の事務
局を拠点に活動し、参画企
業などを募る方針。

産経新聞 2019.1.25(金) 8面

3Dプリンター普及
3月にネットワーク

近畿経産局

近畿経済産業局は24日、
3D（3次元）プリンター
を用いたものづくりの普及
を目指すネットワークを、
3月に設けると発表した。
企業や研究機関の協力を得
て、3Dプリンターに触れ
られる拠点を大阪市内に設
けたり、便利な使い方を紹
介したりする。

3Dプリンターを扱って
いる商社の立花エレテック
（大阪市）や大阪大、立命
館大、大阪産業技術研究所
など約30社・団体が参加す
る。立花エレテックの本社
に、体験用の3Dプリンタ
ーを並べる。

3Dプリンターは設計デ
ータを入力するだけで、精
巧な立体物を作れる。体の
組織を人工的に作る「バイ
オ3Dプリンター」の研究
なども進んでいる。しかし、
欧米や中国などと比べ、日
本では普及が進んでいない
という。

また、近畿経産局はこ

読売新聞 2019.1.25(金) 10面

の目、人を運べてドロー
ン（小型無人機）のよう
に小回りが利く「空飛ぶ
クルマ」を、関西の中小
企業の技術を持ち寄って
開発するプロジェクトを
始動させたと正式に発表し
た。